

WebSphere Extended Deployment Data Grid



バージョン 6.1

クイック・スタート・ガイド

このガイドでは、WebSphere Extended Deployment Data Grid バージョン 6.1 の標準的なインストール方法を説明します。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、CD から PDF (Portable Document Format) ファイルを印刷してください。

製品の概要

WebSphere Extended Deployment Data Grid バージョン 6.1 は、拡張環境におけるオンデマンド機能を提供します。本製品を使用することにより、動的運用を展開して操作効率を高めたり、リニア・スケーラビリティおよび 100% 近い可用性をもって大容量のトランザクション・ワークロードの要求に応えたり、また、大規模で継続的に利用できる WebSphere Application Server 環境を管理したりできます。

加えて、WebSphere Extended Deployment Data Grid では、最高のキャッシングおよびトランザクション分割機能を提供しており、これはむしろ、それぞれ ObjectGrid と分割機能 (WPF) として知られています。ObjectGrid は、幅広いアプリケーション・シナリオにおけるパフォーマンスの改善が提供できるように拡張されています。Java 仮想マシン (JVM) の数およびサポートされるデータ・セットのサイズは著しく増加し、照会機能が追加されて ObjectGrid 構成における並列操作が可能になり、基底の ObjectGrid 情報と異なるスキーマを使用するアプリケーションの同時実行は、可用性が向上しています。

1 ステップ 1: ソフトウェアおよび資料の入手



製品をパスポート・アドバンテージからダウンロードした場合は、次のダウンロード資料の指示に従ってください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=3023&uid=swg27009212>

インストール手順を含む完全な資料については、次の WebSphere Extended Deployment Data Grid Information Center の資料を参照してください。 <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wxdinfo/v6r1/index.jsp>

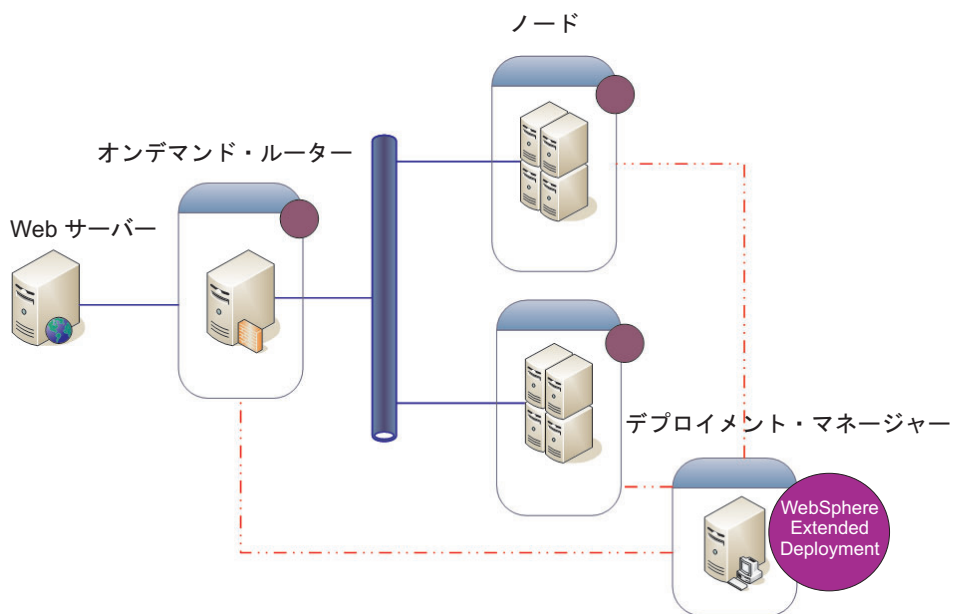
2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



システム要件の詳細は、次の文書を参照してください。 <http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/extend/requirements/>

3 ステップ 3: 基本アーキテクチャの確認

以下の図は、シンプルな製品環境の表示例です。



4 ステップ 4: 製品のインストール



WebSphere Extended Deployment Data Grid バージョン 6.1 をインストールします。

詳しくは、Information Center で以下のトピックを参照してください。

- インストールの計画
- 製品のインストール

その他の情報



追加の技術リソースについては、CD 上の WebSphere Extended Deployment Data Grid のインストール資料および README ファイルを参照してください。